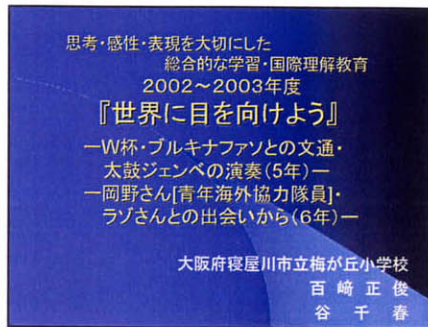




1



4



7



10



2



5



8



11



3



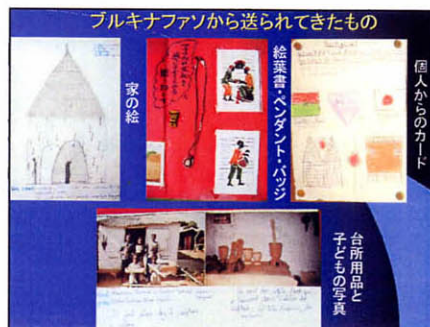
6



9



12



13



16



19



22



14



17



20



23



15



18



21



24



ブルキナファソ ゴアンガン・ナバワクセ小学校との交流

水道・電気・ガスのない生活、
学校に行けず働く子ども達



今の日本でくらす私達の
便利で裕福な生活

人間の“幸せ”って何だろう？ “豊かさ”って何だろう？

25

☆総合的な学習・国際理解教育を

進めていく上での、留意点

- ①長いスパンでのカリキュラム・柔軟な単元構成の重要性
- ②表現・創作活動や発表(コミュニケーション能力)の重要性
・**知識だけでなく感情(感性)を通した異文化理解・交流**
- ③学習への協力機関や交流ネットワーク作り
- ④ゲストティーチャーから学ぶこと
・単なる「情報」ではなく、“人”や“生き方”に目を向ける
- ⑤人権教育や環境教育との関連性(グローバルな感覚)
- ⑥保護者の理解・協力を得る上での学校側の情報発信
- ⑦自己評価・相互評価の重要性
・ふり返し・見つけ直し
・“形式”に陥らない

☆国際理解教育における「情報」「理解」「感性」

- ◎それぞれの文化や習慣の“よさ”や“豊かさ”を認め、尊重する**感性**
- ◎問題を“点”や“線”でなく、“立体”としてつなげて見られる**目**
- ◎「わかったつもり」「理解したつもり」になることの**こわさ**

26